

オータムスクール・北海道&東北 レポート

仁上日南子

今回、私たちはオータムスクール・北海道&東北で、11月10日～11月14日に盛岡市、陸前高田市、山形市の蔵王山に、11月16日～11月21日に札幌市、苫小牧市、函館市、青森市を訪れました。

盛岡市では小岩井農場に付属している演習林に行き、ドローンを使用して調査をし、その様子を講義のために撮影しました。今回の調査では、カラマツとクロマツの植生分布を知るために、ドローンで方正林を上空と側面からの撮影をしました。

また、八幡平市にある、国指定特別天然記念物の焼走り熔岩流も見に行きました。黒く固まった熔岩が岩手山北東の山腹に積み重なっていて、植物もなくなっただけ広い黒い景色が広がっていました。



焼走り熔岩流

陸前高田市では、津波記念館に行き、東日本大震災の詳細を知ることができました。

山形市の蔵王山では、私たちの研究室の調査地をドローンで撮影しました。

ドローンでの調査の有用性と、災害の被害の大きさを改めて知ることができた岩手県での調査になりました。

次に、札幌市でDJIショップの見学をし、苫小牧市では、北海道大学農学部の苫小牧研究林に行き、私たちの研究室の調査対象であるオオシラビソ林などのドローン撮影を行いました。

函館市では、公立はこだて未来大学を訪れ、私たちの研究紹介とドローンの発展についてディスカッションをしました。

青森市では八甲田山のロープウェイに乗り、山頂公園駅付近に生息しているオオシラビソのドローン撮影を行いました。

生育環境によってオオシラビソの植生分布や枯損状況などに違いがみられるかなどの調査の進展や、今後のドローンの技術の発展に期待が高まりました。



北海道庁旧本庁舎

これらの、海外には見られない日本の森林環境の特徴が、海外の学生にとって有意義な学習材料になり、今後の農学の発展に繋がればいいと思います。



苫小牧演習林の宿舎